

(様式第3号)

### 平成19年度調査研究中間報告書

調査研究 課 題	ダイズ加工食品からの遺伝子組換え体 (GMO) 検知法の検討
計画期間	平成18年度～19年度 2年間
調査研究 計 画	<ul style="list-style-type: none"><li>• 種々のダイズ加工食品について DNA 抽出を行い、試験に適する純度での高回収が得られる方法を検討する。</li><li>• PCR 法を用いた定量、ELISA 法を用いた定量の比較を行い、ダイズ加工食品に適する定量法を検討する。</li></ul>
進歩状況	昨年度、市販ダイズ加工食品 10 品目 (ダイズ煮豆、豆腐、油揚げ、厚揚げ、高野豆腐、おから、ゆば、納豆、豆乳、みそ) について、2 種の DNA 抽出用キット (QIAGEN Genomic-tip 20/G, DNeasy Plant Maxi Kit) を用いて DNA 抽出を行い、収率・純度の比較を行った。また、得られた抽出 DNA を用いて定性 PCR 法にて定性試験を行った。
これまでの 成果の 概 要	<p>ダイズ加工食品からの DNA 抽出法について、2 種の DNA 抽出法を比較した結果、食品の物性によって適否があることが分かった。食品の物性によって抽出法を選択することで、簡便に高収率で DNA が回収できることが分かった。</p> <p>抽出 DNA を用いて定性 PCR を行ったところ、納豆以外の品目について対照であるダイズ内在性遺伝子を検知することができた。</p>
今後の 計画・課題 対応方法	今年度は、さらに納豆の検体数を増加して DNA 抽出方法等の検討を行い、製品の加工度と抽出効率の関係について調査する。